

令和8年度札幌市のゼロカーボンの達成に向けた情報発信等 業務に係る企画競争評価基準

1 本書の目的

本書は、「令和8年度札幌市のゼロカーボンの達成に向けた情報発信等業務」（以下「本業務」という。）に係る公募型企画競争における契約候補者を選定するための評価基準及びその他必要な事項について定めるものである。

2 審査・評価の実施主体

本業務に係る企画提案書の審査・評価は、本市が設置する「令和8年度札幌市のゼロカーボンの達成に向けた情報発信等業務に係る企画競争実施委員会」（以下「実施委員会」という。）において行う。

3 審査方法

委員は、「令和8年度札幌市のゼロカーボンの達成に向けた情報発信等業務提案説明書」、「令和8年度札幌市のゼロカーボンの達成に向けた情報発信等業務仕様書」及び本企画競争評価基準に基づき、企画提案書の内容を審査し、採点を行う。

委員は1つの企画提案につき100点満点で採点し、以下の①②の条件を満たす合計獲得点数の最も高い者を契約候補者とする。

- ①各委員の評価点合計の平均が60点を超えること
- ②評価基準のうち、「イベント等における情報発信（25点）」及び「気候変動に係る人材育成（25点）」における各委員の評価点の平均がそれぞれ15点を超えること

4 審査手順

(1) 一次（書類）審査

多数の企画提案書の応募があった場合、評価基準に基づき、書類審査を行い、二次（ヒアリング）審査への参加者を3者程度に選考する。この際の選考方法は企画提案書のみを審査するものとする。

(2) 二次（ヒアリング）審査

一次審査通過者の企画提案書に係るヒアリングを行う。ヒアリング後、各委員は各企画提案書について採点を行う。

(3) 契約候補者の決定

上記(2)の得点に基づき、契約候補者を選定する。

5 採点の方法

委員は、提案に対し別添により、各項目について下記のとおり採点する。なお、間の点数は認めない。

(1) 10点満点の項目の場合

特に優れている→10点、優れている→8点、普通→6点、やや不十分→4点、不十分→2点、評価不能→0点

(2) 5点満点の項目の場合

特に優れている→5点、優れている→4点、普通→3点、やや不十分→2点、不十分→1点、評価不能→0点

6 最高得点者が複数となった場合（同点の場合）

契約候補者となるべき最高得点を得た者が複数あるときは、評価基準における「イ

ベント等における情報発信」と「気候変動に係る人材育成」の合計点の得点が高い方を上位とする。

なお、これによっても優劣がつかない場合は、実施委員会での協議により契約候補者を選考する。

7 企画提案書の提出が1者からのみであった場合

上記3の①②の条件を満たす場合には、契約候補者として選定する。

8 評価基準

企画書作成事項		審査項目	配点
市民向け情報発信（15 点）			
1	特設サイト（LP）（5 点）	市民ニーズに合った脱炭素に係る知識の普及、行動変容の促進につながる情報を発信するものとなっており、WEB ページが停滞していると思われないような、SNS 広告と併せた展開スケジュールとなっているか。	5
2	SNS等広告・その他 広告媒体（10 点）	各 SNS の比較分析を行った上で、適切なものを選定し、ターゲットを明確に設定して費用対効果を最大限発揮できるような情報発信計画となっているか。また、SNS 等以外の広告媒体の選定は、市民向けに訴求力のあるものとなっているか。	10
イベント等における情報発信（25 点）			
3	企画内容（15 点）	来場者にわかりやすく、親しみやすいデザインや内容等で、効果的に周知できるものとなっているか。また、各実施場所の来場者の年齢層や興味関心等に合ったものであるか。	5
		（仮称）環境広場さっぽろ 2026 の環境局ブースにおける展示や体験が、子どもたちにもわかりやすく、楽しみながら環境について学ぶことができる内容になっているか。また、PR ステージに招へいする者は来場を促す集客力がある者が選定されているか。	5
		さっぽろ雪まつりブースにおいて、CO2 排出量の少ない寒冷地エアコン等の設置を含め、熱源転換の効果的な訴求を行う内容となっているか。	5
4	会場選定（5 点）	効果的に目的を達成できるイベントが選定されているか。また、各イベントの企画などと連携し、多くの集客が期待できる 3 回以上の PR イベントとなっているか。	5
5	啓発品（5 点）	環境に配慮した製品であるか、啓発品を受け取ったことで行動変容につながるものが期待されるものであるか。	5
民間企業等と連携した訴求（10 点）			
6	民間企業等と連携した訴求（10 点）	市民と接点を持つ民間企業等と連携し、市民に対し具体的な脱炭素型ライフスタイルを訴求できるものであるか。次年度以降においても、継続的に連携が可能となるよう考慮されているか。	10
気候変動に係る人材育成（25 点）			
7	気候変動に係る人材育成（25 点）	プログラム等について、テーマや講師、内容等は、気候変動の知識や現状、公正な気候変動対策などを「学び」「考える」機会として期待できるものとなっているか。また、そのプログラム等を実施するにあたり、適当なコーディネーター等を選定しているか。	10
		プログラム実施に関する情報発信に当たり、参加していない市民等も情報に触れられるような発信で、参加者の増にもつながるような提案となっているか。	10
		指標（KPI）および測定・分析手法は、本市が求める内容となっているか。	5
全般（25 点）			
8	事業連携（10 点）	仕様書Ⅱ 3 に掲げる各業務について、相互での連携を図り、効果的・効率的な実施によるシナジー効果が期待できるものとなっているか。また、ゼロカーボンの実現に向け、中長期的な視点をもって業務実施するものとなっているか。	10
9	実施体制（5 点）	業務の内容について十分に理解し、業務を着実に遂行する適切な能力、経験、専門知識のある人員が配置されているか。また、業務の進め方や手法、スケジュールは適切に設定され、管理できるものとなっているか。	5
10	実績・費用（5 点）	国や地方自治体の同様の業務を実施した実績があるか。提案に対して見積内容は妥当であるか。	5
11	その他（5 点）	提案における独自性等について特筆すべきところがあれば加点（加点数は実施委員の裁量で決定）	5
合計			100

【採点基準】	5点満点の場合	10点満点の場合
特に優れている	5点	10点
優れている	4点	8点
普通	3点	6点
やや不十分	2点	4点
不十分	1点	2点
評価不能	0点	0点